

日頃の訓練の成果を披露

第49回多久市消防団訓練大会



▲悪天候の中、機敏な動きで訓練に臨む団員

第49回多久市消防団訓練大会が9月4日、多久市陸上競技場で行われ、消防団員370人が参加しました。

大会は訓練礼式の部14隊、ラッパ吹奏の部5隊が出場。悪天候の中、きびきびとした動作で訓練の成果を披露しました。結果は次のとおりです。

訓練礼式の部・優勝西多久分団第1小隊、2位北多久分団本部、3位西多久分団第2小隊。ラッパ吹奏の部・優勝南多久分団、2位北多久分団、3位西多久分団でした。

また10月の全国女性消防操法大会に出場する、多久市女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の展示も行われ、訓練の成果を披露しました。

陣内成和団長は「実際の災害現場に近い環境での訓練で、日頃の訓練の成果が表れていました」と講評をしました。

市長が長寿を祝い 表敬訪問！

最高齢者渡邊さんと100歳の4人を祝う

敬老の日を前に9月17日、横尾市長が市内最高齢者で104歳の渡邊五郎吉さんと100歳の4人に花束を贈り、長寿を祝いました。

明治40年生まれで特別養護老人ホームに入所中の渡邊さん(北多久町)は、市長から祝い状や花束を贈呈されると、「ありがとうございます」と、目頭を押さえて感激されました。平成14年に介護が必要になり、横浜市から多久市に来られ、今は車いすでの生活ですが、うなぎや甘いものが好きで、「みんなが大事にしてくれて、うれしい」と感謝の言葉を述べられました。

なお市では、訪問先以外の100歳以上の方と米寿(88歳)を迎えられた146人にも今後の健やかな長寿を願い、敬老祝い金を贈っています。

該当者は9月15日現在の年齢です。



▲市内最高齢者の渡邊さんを囲むご家族・施設のみなさん(天寿荘にて)

被災地の小学生に思いを寄せて 東部小ボランティア委員会義援金届ける

東部小のボランティア委員会10人が市役所を訪れ、集めた募金と、それぞれの思いの詰まった手紙を市長に手渡しました。委員会の児童らは、自分たちができる形で被災地を応援したいと、ポスターを製作し、各教室に募金箱を設置しました。委員長の長井悠斗さん(6年生)は、「東北の方々を励ましたいという思いが詰まっています。文房具購入などに使ってほしいです」と話しました。この義援金は日本赤十字社を通じて被災地へ届けます。



9/7

多久茂文公没後300年 菩提寺で茂文公を偲ぶ

今年は東原庫舎・多久聖廟を建て孔子の徳を広めた、多久4代領主多久茂文公の没後300年にあたります。財孔子の里の主催で、茂文公の命日に合わせて、佐賀市東与賀町の慶闇寺でその偉業を偲ぶ法要が行われました。細川章先生による『多久家と慶闇寺の関わり』の講話や佐賀城本丸歴史館の見学もあり、多久茂文公の母君の菩提寺(東多久町宝蔵寺)も訪れました。約50人の参加者は、「多久家の勉強が出来てよかった」と話しました。



8/28